



## 組合は心のよりどころ 闘うため組合員の拡大を

### 第30回定期大会

大阪市教は5月19日、定期大会を開催し今年も青年の発言が希望をあげました。9条改憲、新人事評価制度、維新の会とのたたかいを強化する方針を決定しました。

宮城委員長は挨拶で「隠れい、改ざん、ねつ造の政治とりわけセクハラを厳しく批判、数値目標により教育を歪め学校管理体制強化をはかる新人事評価制度反対、9条改憲反対、維新の会との闘い、市民の共同をさらに広げる取り組みを呼びかけました(以下、討論の要旨を掲載)。

北大阪支部の青年は、沖縄の米軍基地問題や戦争・憲法について学んだ「ピーススタディー」について発言しました。



東南支部の講師の青年は、教採突破講座と臨時教職員部の活動の中で、「いろいろな人に積極的に働きかけ取り組んできました。組合は心のよ

りどころ」と話し、多忙化で時間の確保が容易でない現在、「一方通行では相手の要求・想いに寄り添えない。相手の話を聞く環境を作りたい」と述べました。



事務職員部は、冒頭、大阪府から大阪市への事務・権限移譲により、学校事務職員の臨時的任用職員の賃金労働条件が大幅に後退し、臨時主事が大量に府下に流れたことを指摘。独自アンケートで寄せられた「仕事量の割に給料が安い」「多くの経験者が辞めていった」「管理職が超過勤務を認めない」などの声を紹介。「労働組合運動の原点を忘れずに交



渉などに取り組んでいく」と述べました。障害児教育部の青年は、障害児学級の定数改善の訴えと「障教研」の活動を紹介します。「障教研は新たな子どもの見方を発見できる時間」「子どもたちのためという視点を忘れず、本当に大切にしたいことを見つけた」と述べました。

西大阪支部の代議員は国や大阪府が進める教育政策の問題点について発言。○道徳の本格実施により、価値観が押し付けられ評価がされることで、子どもたちが言葉の上や大人(先生)の顔をうかがって行動するようになる、○見切り発車した英語教育も入



門期の英語指導が最も難しいのに体制もできておらず担任の頑張りに委ねている、本気で取り組むならば人を増やす、英語専任の人を小学校に設置することが必要だ、○何でも数値化の学校運営、教育は数値化では測れない、長いスパンで見ると教育、グローバル、アクティブラーニング、何でも横文字でごまかされている、○教員の超過勤務の実態など、織を強化していくことが必要だと述べました。

### 中学校 道徳教科書

## 安倍内閣・財界の「生き方」 押しつける「日本教科書」

大阪教育集会2018が開かれ50人が参加しました。(事務局団体・子どもと教科書大阪ネット)

嫌韓流」などヘイト本を出版する晋遊舎の社長が就任しています。日本会議系の教科書です。

「私」の道徳記録」で4段階の自己評価を求めています。文科省の22の「徳目」それぞれについて、4レベル「大切さや意味は理解している、多くの場面態度や行動にできている」をおしつけ「内心の自由」を奪うものとなっています。

今年度1回目の若手JIMU職員の手JIMU職員の手を6月1日に開催しました。

### 若手「JIMU」が 仲間が増えた

学校行事が多い時期柄、若手向け給与関係の交流予定を、急遽、中堅ベテラン何でも交流会として活発に話しました。市に移譲されて2年目、異動者の通勤手当が前任校・現任校の二重に支給されるなど人事給与システムの不具合が学校現場を繁忙にしている実態を交流。また、給食費システムの変更が毎年変更されました。

### たんぽぽ だより

6月

梅雨に入ると本当にユウウツです。ムシムシして学習に集中できない。休み時間に外で遊べない。そんな子ども達のイライラがトラブルにつながることもしばしば。自分が出ている頃

でもあり、クラスに「荒れ」が感じられることも。この6月をどう乗り切るかが1学期の勝負・トラブルが起きたとき、つい「なんでそんなことすんねん!」と頭ごなしに怒ってしまった

青年部総会に引き続き、6月15日は連続講座・港支部主催のエイサー講習会があります。運動会にむけて本場仕込みのエイサーを一緒に楽しみましょう!



検定合格の日本教科書(株)は、安倍首相のブレイクで道徳の教科化を推進した八木秀次日本教育再生機構理事長が設立し、現在は「マンガ

「心の成長を振り」

今年度1回目の若手JIMU職員の手を6月1日に開催しました。

**退職されたみなさんを囲む会**  
ありがとうございました

退職された皆さんを囲む会を5月25日開催しました。「いつも養護教職員部のお世話になりありがとうございました」「平和を愛し憲法9条を守る気持ちが通じ合うのが安心でした」とのメッセージも届き懇談が弾みました。

**SF姉妹都市解消抗議  
日本教科書採択許さない**  
—6・27市民集会—

- 6月27日(水) 18時30分
- エルおおさか南館(天満橋)